

平成十九年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成十九年二月一日～四月末

投句数 二、〇八三句

特選三句

天

花影を踏みては弾む人力車

神奈川県大和市 平綿良則

地

春の鴨源平池に争はず

神奈川県横浜市都筑区 菅原文子

人

ぼうたんの崩れ際なるこもの内

石川県珠洲市 船本静江

入選句

一般の部

しばらくは桜吹雪のなかにおり

東京都大田区

大村啓介

初めての鎌倉に来て春一番

岩手県盛岡市

小野 穰

写経して仰ぐ彼岸の空真青

神奈川県横浜市旭区

柳沢栄蔵

木の匂ひ水の匂ひや山笑ふ

東京都大田区

三田村孝子

はくれんの深空にひらく昼の月

神奈川県横浜市港南区

雑賀義久

舞う花に会いに来ました段葛

北海道石狩市

原田章子

魁けて辛夷の白の空となり

東京都小金井市

石川明子

寿福寺に思ひがけなき初音かな

東京都新宿区

松村登美子

托鉢の僧のわらじに春の泥

神奈川県鎌倉市

斉藤マサ子

人力車暇そうな日や実朝忌

東京都世田谷区

中村芳子

鎌倉を見渡す山の初桜

神奈川県横浜市青葉区

山下省三

窓開けて胸いっぱい木に芽風

神奈川県鎌倉市

山内愛子

勅願の山門高く花吹雪

神奈川県藤沢市

木村露草

鶯の啼いて一山景動く

香川県木田郡

島谷うた子

鶯のよく鳴くことよ虚子矢倉

長崎県島原市

三好まゆみ

掛軸に夢の一字や花御堂

神奈川県鎌倉市

遠藤金子

今日も来て花人となる段葛

神奈川県鎌倉市

鈴木定男

源氏山下に虚子忌の人ら見ゆ

静岡県駿東郡

堤信彦

夜桜に一期一会と人たむろ

神奈川県横浜市栄区

葭谷健一

鎌倉や小路小路の桜人

福岡県久留米市

谷川章子

(順不同)

入選句

子供の部

春風がはやかけめぐるずいせん寺

東京都世田谷区

谷口

葵

瑞泉寺梅の香りに包まれる

東京都世田谷区

高橋由貴乃

ふきのとうゆきのしたからかおをだす

東京都大田区

石原歩実

空青くつぼみも固い桜の木

東京都江東区

手塚昌克

開花待つ源平池の桜の木

東京都江東区

斉藤美緒

和やかな春の日差しと竹の庭

千葉県安房郡

庄司雅徳

うぐいすがなければこころがいやされる

東京都世田谷区

木本実玖

遠足で鎌倉の文化学びます

東京都世田谷区

木村 匠

入学し新たな友と大仏見

静岡県駿東郡

湯山菜奈子

青葉からおいしい風とこもれ日と

東京都調布市

大竹和機

(順不同)